

平成29年度第1回成田市環境審議会会議録

1 日 時 平成29年7月13日(木) 午前10時～午前12時

2 場 所 成田市役所6階中会議室

3 出席者

(委員)

本橋敬之助会長、森山茂副会長、片岡孝治委員、富井征夫委員、一色尠夫委員、豊田いつ子委員、印宮昭夫委員、長尾ミチ子委員、佐藤勝幸委員、綿貫沢委員、田中典枝委員、小島猛委員

(成田市)

環 境 部 石井部長

(事務局)

環境計画課 椿課長、吉原課長補佐、渡部係長、東係長、平山主査、横田主任主事

環境対策課 大竹課長

クリーン推進課 黒田課長、田部主任主事

環境衛生課 堀越課長

(第3次成田市環境基本計画策定業務委託受託者)

株式会社リジオナルプランニングチーム 山本氏

4 議題

- (1) 平成29年度環境部の概要について
- (2) 環境基本計画の策定について(報告)
- (3) 一般廃棄物処理基本計画の策定について(報告)
- (4) その他

5 傍聴者

6名

6 会議次第

1. 開会
2. 部長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 議事
 - (1) 平成29年度環境部の概要について
 - (2) 環境基本計画の策定について(報告)
 - (3) 一般廃棄物処理基本計画の策定について(報告)
 - (4) その他

5. 閉会

7 議事（要旨）

（1）平成29年度環境部の概要について

環境部各課長より、各課の事務分掌・事務事業の詳細について説明を行った。

議題（1）において出された質問等は次のとおり。

（○・・・質問、→・・・質問に対する回答）

○ニュータウンスポーツ連盟で自販機を置いている。今年から電気の契約先が株式会社成田香取エネルギーに変わったが、単価はいくらになっているのか。また、安くなると思っていたが、昨年より高いときがあるがそれはなぜか。

→細かな単価というのは後で個別に伝えるが、概ね12%～13%以前の契約先より安くなっている。また、電気代については、各施設の使用の状況にもよる。料金のシミュレーションをしたときでは、その時点の単価設定と比べて12～13%落としているという意味合いになる。

○住んでいるところの付近で猫を捕まえた場合、市にお願いすれば、去勢手術の代金を補助してくれるといったことはあるのか。

→今回開始した補助金の制度は、飼い主のいない猫を捕まえてきて去勢手術をするという制度ではない。飼い主のいない猫を適正に管理している方を猫愛護員として登録し、登録された猫の去勢手術を行う場合に手術費の一部が出るというもので、その後の猫をその地域で見守り、管理していくというものになる。

○ごみ問題について、1人あたりのごみが多くなっているとのことで、これを減らすためにもう少し強化していく必要があると考えます。また、2020年のオリンピックを考えると、成田市は外国人観光客を受け入れる窓口になるので、観光客の排出するごみも増えると考えられるので、今以上にごみ対策、減量対策を強化していくべきだと思う。

加えて、全国平均と比べると成田市はごみの量が多いが、減量のための今後の展望や対策をお聞きしたい。

→本日の議題（3）一般廃棄物処理基本計画の策定において、ごみの処理の現状、方針について説明する。

○印旛沼周辺の斜面について、斜面林が全部削られてしまい、省エネのための太陽エネルギー

ギーの開発が進められている。省エネを推進していく反面、守るべき景観等が失われていると感じるが、それに対する規制はないのか。

→現在のところ、太陽光発電のソーラーパネルの設置についての規制は特にない。市では、景観条例等でコントロールできないかということについては、検討を進めていると伺っている。

(2) 環境基本計画の策定について (報告)

渡部計画係長 (環境計画課) より、環境基本計画の策定について説明を行った。

議題 (2) において出された質問等は次のとおり。

(○・・・質問、意見 →・・・質問に対する回答)

○13ページに市民1人1日あたりの排出量が平成27年で1,102gとなっているが、これには、生活系と事業系の内訳はどのようになっているのか。

→13ページの1,102gという数値について、これのうち家庭系ごみは、712gで残りが事業系になる。事業系は許可業者が運搬し、10kg216円となる。

○地球にやさしい空の港まちということで、空港を抱える成田市の騒音問題について、もう少し触れていただきたいと考える。

→本計画においても空港関係の騒音について、対策が必要な騒音として捉えているが、基本的には空港関係の騒音については、空港部にて所管し対策している。

○19ページの重点プロジェクト③の学校における環境教育・学習の推進の中で「市民団体や事業者が提供する環境教育カリキュラムなどの導入は制度上困難」とあるがなぜ困難なのか。解釈が分かれるので、「制度上」は削除した方が良いと思う。

→学校側として、カリキュラムの中で環境教育以外の部分が多くを占めているため、環境分野を特筆して取り入れるというのは難しいとのことで、時間的な制約という意味で困難といった書き方になっている。記述を修正することとする。

○環境教育・学習を進める中で、第3次計画では難しいかもしれないが、船橋市の三番瀬環境学習館のような施設は成田市では計画していないのか。

→成田市環境計画課が事務局をしているなりた環境ネットワークという団体があり、そちらの行事として、自然観察会を年に数回予定している。船橋市のような施設については、現在特に計画していないが、お伺いして勉強したいと考えている。

○本計画について、もう少し大きな視点で捉えてはどうか。

→本計画については、環境負荷の少ない地域社会をつかっていくというような視点でもまとめている。考え方としては、成田市の総合計画であるNARITAみらいプランや、その他、国・県の計画とも整合を図っている内容となっている。

○何年か前にごみの分別が変わり、プラスチックなどは洗って白い袋に入れることとなっているが、手間がかかるため、青い袋に入れてしまう人が多いと聞く。それがごみの排出量の増加に繋がっているのであれば、分別の仕方について、何とかできないかと考える。

→市としてもそのような話は把握している。今までごみとして出していたものを少しでもリサイクルに回し、ごみを減量したいという考えで分別を変更した。ごみの減量やリサイクルの推進については、一般廃棄物処理基本計画の中で分別の仕方や回数等含めて検討しながら進めたい。

(3) 一般廃棄物処理基本計画の策定について（報告）

事務局からの説明後、時間が不足したため、別途会議を開催するかどうかを含め、後日調整することとなった。

(4) その他

今後の予定について

- ・成田市環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画策定に係る諮問及び答申（12月～1月）
- ・成田市環境保全率先実行計画策定の進捗状況等